

- 児童生徒の情報活用能力を育成 □ 教職員の授業改善・働き方改革の推進



宮古島市GIGAスクール構想の実現へ

～ 3年目の取組 ～

【第3次 宮古島市教育ビジョン(教育振興計画)】 ※令和4年度～令和8年度

1 確かな学力の向上の推進

(3) 教員の授業改善、児童生徒の情報活用能力の向上をめざしたGIGAスクール構想の推進

- ① 児童生徒の個別最適な学びを確立するため、ハード・ソフト両面での環境整備の充実に努める。
- ② 教職員に対して、教育の情報化における研修会を実施し、教員のICT活用指導力の向上を図り、授業におけるICT活用促進につなげる。

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」 【文部科学省】

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ



【GIGAスクール構想として整備した環境】

- (1) 全小・中学校の児童生徒に1人1台端末とクラウド環境を整備
- (2) 全小・中学校内の通信ネットワークの整備
- (3) 貸し出し用Wi-Fiルーターの整備(各学校へ申請すること)
- (4) 授業や学習を支援するためのソフトの整備



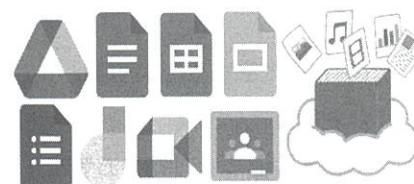
① 授業支援ソフト(Googleの標準ソフト)

- Classroom ドキュメント スプレッドシート スライド
 フォーム Meet ドライブ その他

② デジタル教科書 教師用(全教科) 児童生徒用(小5以上英語 ※R5算数・数学)

③ 学習支援ポータル(まなびポケット)

- ドリル学習用ソフト(eライブラリなど)
 認知機能強化支援ソフト(コグトレ)
 タイピング練習用ソフト(マナビジョン)
 プログラミング学習ソフト(SCRATCH プログル)
 学級満足度心理調査ソフト(WEBQU)
 文部科学省が開発したオンライン学習システム(メクビット:MEXCBT)
 情報モラル、セキュリティ動画教材リンク
 その他



☆今年度取り組んでいること

- (1) 個別学習での活用の促進(調査活動 表現制作 ポートフォリオなど)
- (2) 授業支援ソフトを利活用した授業実践の促進
- (3) 各種学習支援ソフトの活用促進
- (4) 端末の日常的な持ち帰りの促進(家庭での学習や授業の予習・復習の充実)
- (5) リーディングDXスクール事業(文部科学省)の採択を受け、研究校を指定し推進

【リーディングDXスクール事業(文部科学省)とは?】 ※上記(5)

すべての都道府県及び政令指定都市において、GIGAスクール構想によって整備した1人1台端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践を創出・モデル化し、互いの実践から校種を超えて横展開することにより、全国すべての学校における教育活動の高度化の実現に資することを目的とする。(全国で100校程度)

※研究校として鏡原小学校と鏡原中学校を指定し推進中!!

子供たちが、自分の学びたいことや学ぶべきことのために、この1人1台端末を「文房具」として使うようになることを目指します。そのために、保護者の皆様をお願いしたいこと!!

※持ち帰ってきた際には…

- (1) 家庭でのルールづくりをお願いします。

生活リズムが崩れないように時間を決めて使用しましょう。

(宮古島市では、小学生は21:30まで、中学生は22:30までの使用を推奨しています。)

目や睡眠への影響を考慮して、30分に1回は目を休めるようにしましょう。

- (2) 学習内容を確認したり一緒に操作してみたりと見守りをお願いします。

- (3) 端末の本体・電源コード・タッチペンが揃っているか確認をお願いします。

現在、使用している端末は、卒業するまで使用することとなります。破損や紛失がないように大事に使用し、卒業後は、後輩へと引き継いでいきます。

破損や紛失、勝手な設定変更により不具合が生じた場合は、その修理費及び購入費については、全額または一部を負担してもらうこともあります。

- (4) 情報活用能力や情報モラルについて家庭でも話題にしていただき、一緒に育てていきましょう。

子供たちが生きていく時代は、デジタル化(DX)がさらに進んでいきます。

そんな世の中をたくましく生きるための資質・能力を、一緒に育てていきましょう。

